

AmiVoice® Ex Clinic 導入事例

スムーズな音声入力で作業スピードがアップ！
さらに、患者さんとのコミュニケーション不足も解消。
電子カルテ化における不安点を、AmiVoice®で解決しました。

導入効果

- 電子カルテ移行の作業負担を大幅に軽減
- 患者さんとのコミュニケーション不足を解消

AmiVoice® Ex 導入のきっかけは？

電子カルテへの移行がきっかけです。
カルテの電子化を検討していて、カルテが画一化されたものにならないかという懸念がありました。元々カルテ記入は患者さんの言葉や表現を尊重していましたので、キーボード入力に追いつかず、定型文に頼ったりしてカルテの内容が損なわれるようなことがあってはならないと考えていました。
それで、当院の電子カルテシステムを担当しているメディコムソリューションの渡邊さんから、AmiVoice®を紹介していただいたというわけです。

実際に使用されてみて、いかがですか？

予想以上に便利で速くて、とても助かりました。1月の電子カルテ導入準備から3月1日の実稼働までの間、診察終了後に紙カルテからの移行作業をしていましたが、AmiVoice®のおかげで日に10～20名程度の診療データ移行を継続して行えました。



電子カルテ普及に無くてはならない AmiVoice® EX

株式会社メディコムソリューション
沼津営業所 インストラクター
渡邊 昌 主任

電子カルテ移行の負担を少しでも軽減できればと考え、西原先生にAmiVoice®をご提案させていただきました。結果、移行作業にかかる負担を大幅に軽減できたと思います。
患者さんからの訴えを復唱するかたちで入力される西原先生の診察スタイルは、医患共同でのカルテ作成を実現しており、AmiVoice®での電子カルテ運用が患者さんとのコミュニケーションツールとして大きな役割を果たしていると実感します。
音声認識が向上した現在、AmiVoice®は、今後電子カルテの普及に無くてはならない商品の一つであると確信しています。

PROFILE

西原内科循環器科医院

院長 西原健二先生
所在地 静岡県富士宮市
診療科 内科・循環器科



AmiVoice® Ex 導入時期 2007年1月

AmiVoice® Ex 導入の効果は？

現在では診察中に、患者さんの前で音声入力しています。患者さんが話した内容を歪曲することなく再現できますし、実際に入力された画面を患者さんと一緒に確認して、「これで間違いありませんか？」と確認するようにしています。そうすることで、患者さんとの誤解を防ぎ、より信頼関係を深めることができた実感しています。
電子カルテ導入後は「画面を見ていて患者を診ていない」という苦情が多く出ると聞いています。私としては、絶対にそんなことがあってはならないと考えていました。
電子カルテ化による患者さんとのコミュニケーション不足を防ぎ、よりよい信頼関係を築くためにも、AmiVoice®は非常に有効なツールといえるのではないのでしょうか。

AmiVoice® Exのご使用で工夫されていることは？

電子カルテや画像ファイリングなど、複数のディスプレイを使用したシステムを構築し、カルテ画面や検査画像、紹介状などを一度に閲覧できるように工夫しています。
AmiVoice® エディターも大きく表示して、患者さんと記入内容を確認する際に役立っています。

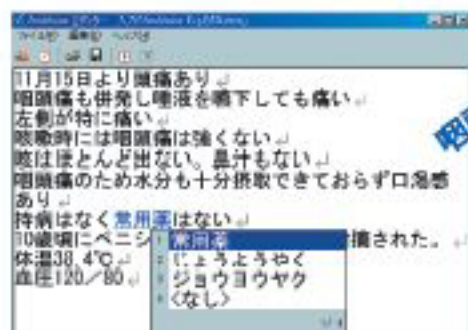
- 今回西原先生から、所属医師会の病院名、医師名や地域の情報を事前登録してほしいと、ご要望をいただきました。今後の検討課題とさせていただきます。
お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

AmiVoice® Ex

問い合わせ先

株式会社アドバンスト・メディア
http://www.advanced-media.co.jp/
E-mail: info@advanced-media.jp

*AmiVoice®およびロゴマークは株式会社アドバンスト・メディアの登録商標です。



咽頭痛のため水分も十分摂取できておらず口渇感あり 持病はなし

